

社会資本総合整備計画(第3回変更)

やなぎがうらえきしゅうへんちくとしさいせいせいびけいかく
JR柳ヶ浦駅周辺地区都市再生整備計画

おおいたけんうさし
大分県宇佐市

令和3年9月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年04月09日

計画の名称	J R 柳ヶ浦駅周辺地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	宇佐市												
計画の目標	大目標：北口駅前広場周辺整備により人や機能の集約を図り“安全で・心地よい交流拠点”を創出する 目標1：誰もが集える空間を創出し、駅周辺の安全性を向上する 目標2：安心してアクセスできる空間を創出し、利便性を向上する 目標3：地域に誇りを持ち、愛着心が育まれる市民活動を活性化する												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,040	A	1,040	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30当初	中間目標値 R2末	最終目標値 R4末
1	駅舎及び駅前広場に対して、満足・やや満足・普通と考えている人の割合を21%(H28)から60%に増加 駅舎及び駅前広場利用者満足度 駅舎及び駅前広場に対して、満足・やや満足・普通と考えている人の割合	21%	21%	60%
2	J R 柳ヶ浦駅乗降客数(約465,400人/年)を維持 J R 柳ヶ浦駅で鉄道に乗車または鉄道を降車した人の数	465415人/年	465400人/年	465400人/年
3	駅周辺での市民活動回数を4回/年(H28)から12回/年(H34)に増加 駅前広場等で実施された市民活動の回数	4回	6回	12回

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	宇佐市	直接	宇佐市	-	-	J R柳ヶ浦駅周辺地区都市再生整備計画	駅前広場整備事業 他 2 1 . 2 ha	宇佐市						1,040		-	
												小計						1,040		
											合計						1,040			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	11	71	33		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	11	71	33		
前年度からの繰越額 (d)	0	4	66		
支払済額 (e)	7	9	97		
翌年度繰越額 (f)	4	66	2		
うち未契約繰越額(g)	4	56	2		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	36.36	74.66	2.02		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	JR軌道敷周辺用地測量につ いて協議に不測の日数を要 したため	用地・補償契約に係る移転 先の選定に不測の日数を要 したため			

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： J R 柳ヶ浦駅周辺地区都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

